

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

夏休みのはじめ、ぼくは家族といっしょに海へ旅行に行った。

朝早く家を出たので、車の中では少しねむかったけれど、窓の外に青い空が広がっているのを見ると、だんだん目がさえてきた。

トンネルをぬけるたびに、空の色が少しずつ明るくなる気がして、心も少しずつはずんできた。

「もうすぐ着くよ。」とお父さんが言うと、ぼくはシートベルトをぎゅっくにぎって、前の方をのぞいた。

海につくと、白い砂ときらきら光る水が目に入った。思っていたよりもずっと広くて、波の音も大きく、風によって少ししおのおいおいがしてきた。

「すごいね。」と妹が言い、ぼくも思わずうなずいた。

でも、足を入れてみると、水は少し冷たくて、思わず声が出た。はじめは、こわくてひざのあたりまでしか入れなかった。波が来るたびに、足がすぐわれそうな気がしたからだ。

「思ったより深いかも。」と、心の中でつぶやいた。

すると、お母さんが「ゆっくりでいいよ。」と言って、手をにぎってくれた。

そのまま少しずつ進んでいくと、さっきよりも波の動きが分かる気がして、こわさが少しやわらいだ。しばらくすると、ぼくは妹といっしょに、波が来るたびにジャンプして遊ぶようになった。

タイミングが合わずに、ころんでしまったけれど、すぐに立ち上がると、なんだかおかしくて二人で笑ってしまった。

お父さんは少し離れたところで泳いでいて、手をふると、にこっとして手をふり返してくれた。

その顔を見て、ぼくは少しだけ安心した。

お昼には、砂浜でおにぎりを食べた。体を動かしたせいかな、いつもよりずっとおいしく感じた。

妹は「まだ遊びたいね」と言いながら、あつという間に食べ終わった。

空を見上げると、雲がゆっくり流れていて、時間もゆっくり進んでいるようだった。

波の音を聞きながら食べるごはんは、なんだか特別な気がした。

午後も少しだけ海に入り、貝がらをひろったり、砂で山を作ったりして遊んだ。

はじめはこわかった水も、今では少しだけ近くに感じられた。

「もう少し入ってみようかな。」

と、自分から思えたのが、なんだかふしぎだった。帰るころ、ぼくは海をもう一度ふり返った。

朝はこわいと思っていたのに、今は「また来たいな」と思っている自分に気づいた。

車に乗りこむと、体はつかれていたけれど、心はなんだかあたたかかった。

家族とすごした一日が、夏休みのよい思い出として、長く心のにこりそうだと思った。



(1) ぼくが海に着いたときのようすとして、文章の内容に最も合っているものを一つ選びましょう。

- ① 水は思ったよりあたたかく、すぐに深いところまで入れると感じたこと
- ② こわさはほとんどなく、すぐに泳ぎ始められそうだと思ったこと
- ③ 人が少なくてしずかで、落ち着いて泳げそうだと感じたこと
- ④ 白い砂ときらきら光る水が目に入り、思ったより海が広く、波の音も大きいと感じたこと

(2) はじめ、ぼくは海に入るのがこわかったのに、だんだんこわさがやわらぎました。それはなぜですか。文章の内容をもとに書きましょう。



(3) つぎの内容を、文章の流れに合うように正しい順番に並べましょう。

- ① 砂浜でおにぎりを食べた。
- ② はじめは、ひざのあたりまでしか海に入れなかった。
- ③ 家族で車に乗って、海へ向かった。
- ④ 妹といっしょに、波に合わせてジャンプして遊んだ。



(4) つぎの文は、文章の内容と合っていますか。正しいものには「○」、ちがっているものには「×」を書きましょう。

- () お母さんは、「ゆっくりでいいよ」と言っ
て、ぼくの手をにぎってくれた。
- () ぼくは、海に着いたときから、こわさを
まったく感じていなかった。
- () おじいさんはこっと手をふり返して
くれた。

(5) お昼のおにぎりが、ぼくには「いつもよりずっとおいしく」感じられたのはなぜですか。文章の内容をもとに二十五字以内で書きましょう。



(6) 話の最後で、ぼくはどんな気持ちになったと考えられますか。いちばん合っているものを一つ選びましょう。

- ① 海はこわい場所なので、もう来たくないと思っ
た
- ② つかれてしまい、早く家に帰りたいと思った
- ③ はじめはこわかった海が、今はまた来たい場所
になったと思った
- ④ 家族より、一人で来たほうが楽しいと思った

(1) ぼくが海に着いたときのようすとして、文章の内容に最も合っているものを一つ選びましょう。

- ① 水は思ったよりあたたかく、すぐに深いところまで入れると感じたこと
- ② こわさはほとんどなく、すぐに泳ぎ始められそうだと感じたこと
- ③ 人が少なくてしずかで、落ち着いて泳げそうだと感じたこと
- ④ 白い砂ときらきら光る水が目に入り、思ったより海が広く、波の音も大きいと感じたこと

(2) はじめ、ぼくは海に入るのがこわかったのに、だんだんこわさがやわらぎました。それはなぜですか。文章の内容をもとに書きましょう。

解答例
お母さんが「ゆっくりでいいよ」と言っ
て手をにぎってくれ、少しずつ進むうち
に波の動きが分かり、安心したから。

(3) つぎの内容を、文章の流れに合うように正しい順番に並べましょう。

- ① 砂浜でおにぎりを食べた。
- ② はじめは、ひぎのあたりまでしか海に入れなかった。
- ③ 家族で車に乗って、海へ向かった。
- ④ 妹といっしょに、波に合わせてジャンプして遊んだ。

③ ↓ ② ↓ ④ ↓ ①

(4) つぎの文は、文章の内容と合っていますか。正しいものには「○」、ちがっているものには「×」を書きましょう。

- () ○ () お母さんは、「ゆっくりでいいよ」と言
って、ぼくの手をにぎってくれた。
- () × () ぼくは、海に着いたときから、こわさを
まったく感じていなかった。
- () × () おじいさんはこっと手をふり返してく
れた。

(5) お昼のおにぎりが、ぼくには「いつもよりずっとおいしく」感じられたのはなぜですか。文章の内容をもとに二十五字以内で書きましょう。

解答例
たくさん体を動かしておなががすいて
いたから。

(6) 話の最後で、ぼくはどんな気持ちになったと考えられますか。いちばん合っているものを一つ選びましょ。

- ① 海はこわい場所なので、もう来たくないと思っ
た
- ② つかれてしまい、早く家に帰りたいと思った
- ③ はじめはこわかった海が、今はまた来たい場所
になったと思った
- ④ 家族より、一人で来たほうが楽しいと思った